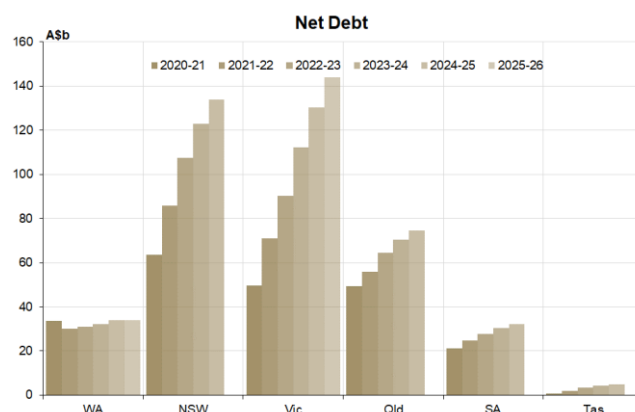
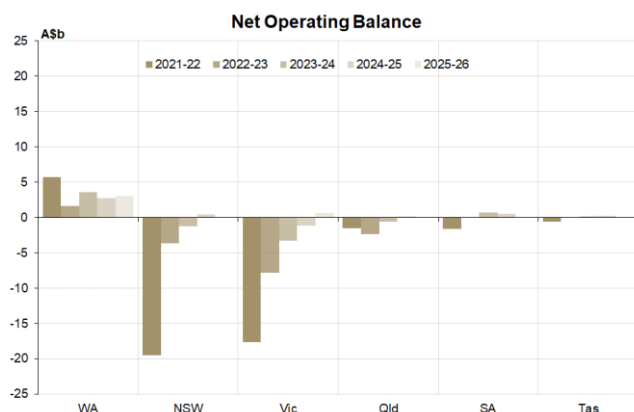


西オーストラリア州今月のデータハイライト

- 西オーストラリア州最終需要は第1四半期 2.2%増加し、年間を通じて 4.9%の増加となった。
- [州の商品輸出](#)は、4月までの3カ月間で、総額 592 億豪ドルとなった。
- [州の賃金](#)は第1四半期 0.5%上昇し、年間成長率は 2.2%となった。
- [州の雇用](#)は前年比 5.1%増となった一方、失業率は 2.9%へ低下した。

2022-23 年 西オーストラリア州予算

- 世界経済の不安定性およびリスクの高まりにも関わらず、西オーストラリア州経済は力強い成長を続け、2021-22年の州経済活動は過去10年間で最も早い成長率で拡大すると予測されている。
- [2022-23年西オーストラリア州予算](#)によると、2021-22年の実質州総生産(real GSP)の成長率は 3.75%と予測され、これには過去10年間で最も好調となる実質州最終需要 5.25%成長を含む。州最終需要は 2022-23年には 4.0%成長、2023-24年には 3.0%成長と、さらに強固な成長が見込まれる。
- 2021-22年の成長は、(i) コロナ感染症拡大による低迷からの、消費者支出の大幅な増加、(ii) 大規模 LNG プロジェクトへの支出、および高水準な生産を維持するための資源分野全体での設備投資により 2022-23年には再び加速が見込まれる好調な企業投資の増加に起因する。
- 労働需要は、世界金融危機以来の高水準となり、今後数年間の失業率は平均 3.75%と見込まれている。
- ここ数カ月の世界的な価格圧力の加速により、パース CPI は 2021-22年には 4.00%増加が予測され、その後 2022-23年には 2.75%増、その後数年は 2.50%増へと減速していくことが予測されている。
- 好調な経済成長と高騰するコモディティ価格により 2021-22年の一般政府営業黒字は増加に転じ、現在の黒字予測は 57 億豪ドル(GSP の 1.4%)となっている。営業黒字はまた、2022-23年(16 億豪ドル)および予測期間全体を通じて予測され、これはオーストラリア他州と比べ、ずば抜けて優秀である。
- 黒字により、州の純負債水準は大幅に減少し、2022年6月30日時点の純負債は、299 億豪ドル (GSP の 7.5%) と予測され、これは 2021-22年半期報告書の予測より 27 億豪ドルの減少となった。2015年以來初めて、純負債が 300 億豪ドルを下回る事となる。純負債は今後数年間に徐々に増加すると予測されるものの、GSP の 10.0%未満に留まると見込まれている。



オーストラリア金利(%)			為替と株価	
RBA 政策金利目標	0.35	(↑25 pt)	AUD/USD	0.7173 (↑110 pt)
90 日銀行手形	1.77	(↑107 pt)	AUD/JPY	92.35 (↑0.7 pt)
連邦政府 3 年国債	2.98	(↑23 pt)		
連邦政府 10 年国債	3.35	(↑18 pt)	ASX200	7211 (↓224 pt)

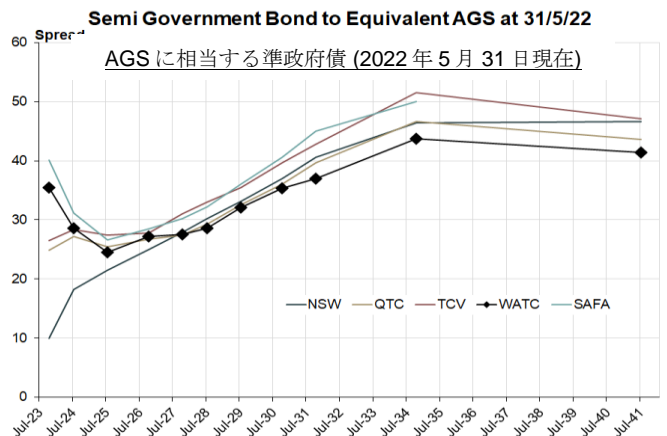
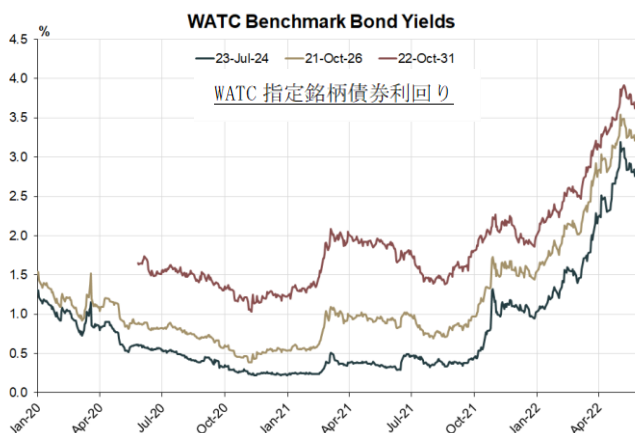
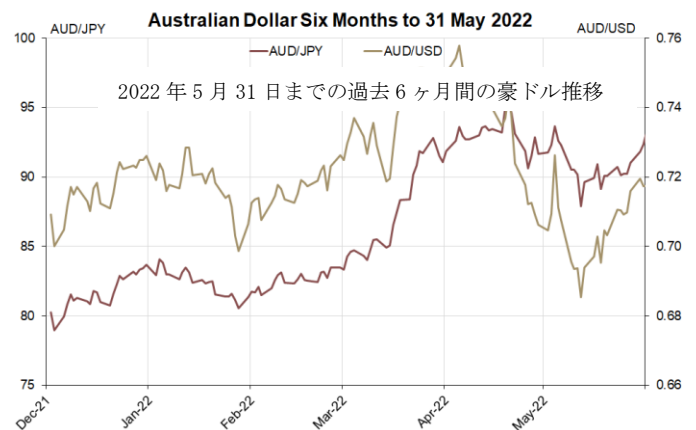
*数値は月末時点。()内は、先月との比較。

市場状況

- RBA は、6 月 7 日に開催される次回の理事会で金利をさらに 25bps 引き上げ、0.60%とする見込みだ。さらに大きな 50bps 引き上げの可能性は、政策金利が 50%を超えると有り得そうだ。
- RBA が 10 年以上ぶりに政策金利を引き上げ、追加の引き上げの可能性を示唆したことから、オーストラリア債券利回りは 5 月上旬、2014 年以来の最高水準に急上昇した。しかし、投資家が中央銀行の引き締め政策の世界経済への影響を懸念したため、利回りは月の後半にかけ、ゆっくり下降した。WATC スプレッドは、満期を迎えたほとんどの債券に関して拡大した。
- 豪ドルは今月、高いコモディティ価格、中国での大規模な刺激策への期待感および RBA による金融引き締め政策の開始に支えられ、米ドルおよび日本円に対し上昇した。豪ドルは 5 月初旬には、5 月 12 日に豪ドル/米ドルがコロナ感染症拡大初期以来の最低水準へ減少するなど弱かったが、月末にかけて強固となった。
- 豪株式市場は 4 月さらに 3.0% 下落し、2 カ月連続の下落となった。

WATC 指定銘柄債券株利回り		
満期	利回り 31/05/2022	AGS スプレッド 31/05/2022
16 October 2023	2.63 (↑21 pt)	+35 pt (↑12 pt)
23 July 2024	2.89 (↑9 pt)	+29 pt (↑4 pt)
23 July 2025	3.15 (↑10 pt)	+25 pt (↑4 pt)
21 October 2026	3.34 (↑14 pt)	+27 pt (↑5 pt)
21 October 2027	3.42 (↑15 pt)	+28 pt (↑6 pt)
20 July 2028	3.48 (↑14 pt)	+29 pt (↑4 pt)
24 July 2029	3.59 (↑16 pt)	+32 pt (↑3 pt)
22 October 2030	3.70 (↑18 pt)	+35 pt (↑5 pt)
22 October 2031	3.75 (↑18 pt)	+37 pt (↑6 pt)
24 October 2034	3.95 (↑19 pt)	+44 pt (↑3 pt)
23 July 2041	4.12 (↑15 pt)	+41 pt (↓8 pt)

*Spreads are to nearest Commonwealth Bond.



ここに記載された全ての見解・判断・結論・予想・予測または評価は、弊社が信頼に足るものと判断した情報から構成されております。しかしながら、弊社は、情報の正確性を保証するものではありません。したがって、弊社としましては、誠意をもってこれらの提案をいたしておりますが、全ての決定権は貴方にあり、慎重にご検討されるようお願い致します。また、これらの提案は、特定の事項に関する専門的助言に代わるものではありません。これらの提案を受諾または拒絶する際には、事前に具体的な要望や状況に関し、必ず弊社にご相談ください。